

第1号議案

2022年度のまとめと2023年度のすすめかた

《2023年度スローガン》

組合員と職員の協同の力で、 共立病院の建て替えリニューアルを成功させよう！

はじめに

2022年10月30日、荻野俊夫代表理事・理事長が急逝され、11月12日付で西村哲範共立病院院長が代表理事・理事長に就任しました。荻野前理事長は、1975年の共立診療所開設以来、半世紀近くの長きにわたり、姫路医療生協の事業と活動の発展に尽力されてきました。法人理念「その人らしく、気持ちよく生きる」の提唱や「事業の目的は利用者を増やし、喜んでいただけるサービスを提供すること」「絶対にお断りしない」「困っている人に必ず手を差し伸べる」等の基本方針は荻野前理事長が強調されたものです。これらの基本的精神を引き継ぎ、さらに発展させていきます。

今、新型コロナウイルス感染症をはじめ、少子高齢化、貧困・格差の拡大、円安・物価高騰、ロシアによるウクライナ侵略、防衛費のGDP比2%の増額、気候危機等、くらし・平和・環境に関する様々な課題が山積しています。2023年度も事業と活動を通じて、地域包括ケア^①を推進するとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の視点で様々な社会問題にアプローチし、「誰一人取り残さない社会」の実現をめざして行動します。

姫路医療生協は2024年8月に創立50周年を迎えます。周年行事や記念誌発行等の準備をすすめます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1) 2022年度のまとめ

1. 共立病院建て替えリニューアルと地域包括ケアの推進、介護と医療の一体化

①共立病院建て替えリニューアルは、組合員と職員が協同して新病院建設委員会を立ち上げ、建設運動をすすめました。

○組合員による共立病院駐車場案内ボランティアも患者様に喜ばれています。

○介護事業の展開も計画的にすすめました。

2022年3月 福祉介護センターあぼし新築移転

2022年5月 福祉用具レンタルあぼし開設

2022年10月 福祉用具レンタル市川台を移転し「共立」へ名称変更

2022年12月 共立病院建て替え地鎮祭、着工

2023年4月 姫路市白鷺・琴陵地域包括支援センター受託開設



福祉用具レンタル共立

②地域包括ケアを推進し、“介護と医療の一体化”をすすめました

○共立病院と介護部門の連携会議やあぼしエリアにおける連携会議等、しくみをつくり、“総合力と連携”強化をはかりました。

○2月の兵庫民医連学術運動交流集会には、法人から20演題を発表し、“多職種連携”“自立支援”を深めました。

○5月にオープンした県立はりま姫路総合医療センターをはじめ、他法人の医療機関・介護事業所との連携をすすめました。

③経営活動は、3つの柱（利用者増・コンプライアンス②・サービスの質の向上）を重視しました

○2022年度決算は、事業収益52億6,137万円（予算比99.9%、前年比101.1%）、経常利益1億3,198万円（経常利益率2.5%、予算比97.9%）です。

○姫路市の実地指導を各事業所（福祉介護センターあぼし・福祉介護センターなだ・居宅介護の窓口・増位広嶺地域包括支援センター）が受け、サービスの質の充実につなげました。

○中長期計画は、共立病院の建て替えリニューアル計画を見据えて、20年間の収支計画を作成しました。

○ニュースひめじが医療福祉生協連の機関紙コンクールで最優秀賞を受賞しました。

2. “地域包括ケアを担う人づくり”の推進

①人財確保・育成、管理者・リーダーの育成をすすめました

- 計画的に新入職員基礎研修を開催するとともに、兵庫民医連の介護管理者研修会に16名が参加しました。
- 法人学習会－「10の基本ケア学習会」（4月：99名参加）、「完全側臥位法学習会」（10月：126名参加）を開催しました。
- 職責者未配置の介護事業所に計画的に職責者の配置をすすめました。
- 医師確保は、引き続き最重点課題です。

②教育体系の見直しをすすめました

- 介護運営コンサル会社と契約をおこない、プロジェクトを立ち上げ、新入職員基礎研修をOJT（職場内研修）に活かせる内容に改善するとともに、介護事業所の事業種ごとの新入職員教育チェックリストを作成しました。2023年4月から本格的運用を開始しています。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげました

- 第23回介護医療フォーラムを開催（11月）し、「認知症になっても自宅で暮らし続けるために」をテーマに293名の組合員・職員がともに学びました。
- 理事研修会を開催（7月）し、医療福祉生協の2030年ビジョンを組合員理事・職員理事がともに学び、交流を深めました。
- 通信教育は組合員25名、職員49名、計74名が受講しました。



第23回介護・医療フォーラム パネルディスカッション

3. 共立病院建て替えリニューアル成功に向けた“1億円増資大運動”

①ゆるやかなつながりづくりと社会参加を大切に“くらしの安心ネットワーク”をひろげました

- コロナ禍の中、創意工夫で「つながりを絶やさない」活動をひろげました。生協マルシェ^③は、あぼしエリアにも拡大するとともに、フードドライブ^④や「スマホの使い方」班会も注目されました。「介護・医療の困りごと相談窓口」ステッカーを組合員にひろげました。



あぼしマルシェ

- フレイル・オーラルフレイル予防^⑤、ひょうごまるごと健康チャレンジ、禁煙ポスターコンクールにとりくみました。
 - 秋の生協強化月間は共立病院の建て替えリニューアルの成功を訴えのメインに推進しました。
 - 仲間ふやしは722名（純増▲119名）、出資金ふやしは5,745万円（純増808万円）の到達です。事業所の平均組合員利用率は49%です。生協法上、50%以上の実現が求められます。
- ②くらし・平和を守る活動をすすめました
- 「憲法改悪を許さない全国署名」「介護保険制度の改善を求める請願署名」等、署名活動にとりくみました。
 - ウクライナ支援募金、平和行進、トルコ・シリア大地震支援募金にとりくみました。
 - 西播社会保障推進協議会の自治体キャラバンに参画し、5市6町を訪問し、懇談しました。

2) 2023年度のすすめかた

1. 介護と医療の連携強化・一体的サービス提供で、利用者を在宅で支えます

- ①多職種連携・自立支援をすすめ、在宅の限界点を高めます。
- 共立病院の建て替え運動は、2023年12月のオープン（地域包括ケア病床48床、投資額：税込約16億円）をめざし、新病院建設委員会を軸に組合員参加で推進します。差額ベッド料はとらず、いのちの平等を守ります。共立病院デイケアは、別棟で2024年8月オープン予定です。
 - 医療事業は「かかりつけ医」^⑥機能と訪問診療を重視し、患者増をすすめます。医師対策を強化し、常勤医師を確保します。
 - 介護事業は、2023年4月に白鷺・琴陵地域包括支援センターを受託開設し、軌道に乗せます。赤字事業所は統廃合含めた事業の再構築・経営改善をはかります。食支援プロジェクトで、在宅で“最期まで食べる”にこだわった支援をすすめます。
 - 2023年度の事業収益は54億513万円（前年比102.7%）、経常利益は5,288万円（経常利益率1.0%）を実現します。
 - 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をさらに強めます。2024年4月の診療報酬・介護報酬・障がい福祉のトリプル改定、第9期介護保険事業計画対応を着実にすすめます。



姫路市白鷺・琴陵地域包括支援センター

②組織再構築で健全経営を実現します

- 2023年4月から介護事業の統括責任者を専任化するとともに、介護事業部の体制強化と役割の見直しをおこないました。また、総務部のもとに人事課を設置し、人財確保・育成・評価制度を本格的に運用します。人財確保につながる給与体系の見直しを具体化します。
- 営業活動と広報活動を強化します。ICT（情報通信技術）の利活用水準をさらに引き上げます。引き続きコンプライアンスを重視します。

2. 地域組合員と職員組合員がともに学び、育ち合う人づくりをすすめます

①「生協10の基本ケア」を導入し、実践につなげます

- 「生協10の基本ケア」学習会や実践発表会を開催します。“尊厳を護る”“自立を支援”“在宅生活を支援”することを大切にします。
- 「生協10の基本ケア」を組合員と職員の合言葉にし、医療事業、介護事業、組合員活動に活かします。



フレイル予防講座

②教育体系を見直し、人財確保・育成を強化します

- 2023年4月からOJT（職場内研修）に活かせる内容に改定した新入職員基礎研修、介護事業所の新入職員教育チェックリストの本格的運用を開始します。
- キャリアパスの構築を具体化し、管理者・リーダー育成を推進します。
- 職場づくりは、職員の力を引き出すマネジメント、多様な価値観を尊重する「心理的安全性」^⑦を重視します。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます

- 第24回介護・医療フォーラムを企画します。
- イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげます。
- 通信教育やe-ラーニング^⑧の活用をはかります。

3. 誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくりをすすめます

①ゆるやかなつながりと社会参加を大切にし、“くらしの安心ネットワーク”をひろげます

- 健康づくり、フレイル・オーラルフレイル予防、サークル活動、生協マルシェ、フードドライブを地域にひろげます。新たに「ボッチャ」^⑨にとりくみます。
- 担い手づくり・居場所づくりを重視します。地域で生活を支える「くらしの助け合い

の会はなちゃん」の支援会員や事業所ボランティアを増やします。

- 75歳以上組合員のつながりを強め、フレイル予防、見守り活動、相談活動をひろげます。
- “認知症になっても自宅で安心して暮らせるまちづくり”をすすめます。
- 事業利用委員会は、「キラリハート」^⑩のとりくみを重視するとともに、“ともに創る”イベントを企画します。



ポッチャ

- ②共立病院建て替えリニューアル成功を目指した“1億円増資大運動”にとりくみます
 - 仲間ふやし1,000名（純増500名）、出資金ふやし1億円（純増5,000万円）、積み立て増資1,200件/月をめざします。早期に組合員数2万人を回復します。
 - 全事業所が組合員利用率50%以上を実現します。各事業所は日常的な組合員ふやしにとりくみ、組合員利用率アップをはかります。
- ③持続可能な社会・平和な社会をめざします
 - 憲法9条を守り、平和な社会をめざします。
 - 社会保障の拡充、環境を守るとりくみを推進します。
 - 原発ゼロの実現、再生可能エネルギーへの転換をめざします。
 - 署名活動や学習会・平和ツアー等のイベント、平和行進、自治体訪問にとりくみます。

《語句の解説》

① 地域包括ケア

地域の中で医療、介護、生活支援・介護予防、住まいが一体的に提供される考え方。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり。

② コンプライアンス

法令遵守、及び社会規範を守ること

③ 生協マルシェ

マルシェはフランス語で「市場」を意味します。“通い”と“つながり”の場としての楽しいイベント

④ フードドライブ

食品ロスをなくすために、余った食品を必要な人に届けるとりくみ

⑤ オーラルフレイル予防

口腔機能の低下を予防する取り組み。健康寿命の延伸に大きく寄与します。

⑥ かかりつけ医

医療・健康のことなら何でも相談できる身近な医師

⑦ 心理的安全性

誰もが安心して発言や行動ができる組織の環境を指します。

⑧ e-ラーニング

インターネット・動画を活用した学習

⑨ ボッチャ

老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に、そして競い合えるスポーツ

⑩ キラリハート

利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にし、ひろげるとりくみ

2023年度 各部門・事業所の理念と重点課題

《姫路医療生協の理念》

その人らしく、気持ちよく生きる

共立病院

《理 念》利用者が満足できるより良いサービスを提供し、地域から信頼される病院をつくります

《重点課題》

- 地域住民の在宅生活を支える病院として地域包括ケア病床の機能を医療活動の中心に位置づけます。
- 職業人としてあるべきふるまいを常に心がけ、すべての関係者が満足できるような職員の接遇対応を実現します。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携をさらに向上させます。

ヘルスコープあぼし診療所

《理 念》安心・安全の介護・医療連携で、利用者様へ満足度の高いサービスを提供します

《重点課題》

- 常勤医師を1名採用します。世代交代の計画的な対応をすすめます。
- “かかりつけ医”診療所としての環境整備をおこない、患者様・家族様に医療を提供します。
地域の医療と介護が連携し、患者様の思いに沿った診療所の医療を提供します。
- 在宅医療管理件数70件（うち1割は太子地域）を目指します。多職種連携でアドバンス・ケア・プランニングに基づく終末期医療に対応します。
- SDGsにかかわる「フードバンク」の受付事業所としての役割を果たします。

共立歯科

《理 念》口はいのちの入り口 健康の入り口

～生涯口から食べる楽しみをサポートします～

《重点課題》

- 地域包括支援ケアシステムにおける歯科の役割を果たし、在宅歯科診療をひろげます。
- 医科歯科介護連携を深めICTを利用し口腔ケアの技術向上に努めます。
- 安心安全な治療を提供し安定した経営を行います。
- すべての分野で選ばれる歯科を目指し接遇の向上に努めます。
- 働きやすい職場（魅力的な職場）づくりに努めます。

居宅介護支援事業所

《理 念》ふれ愛 ささえ愛 みとめ愛 とともに生きる

《重点課題》

- 公立病院建て替えリニューアル成功に向け、介護と医療の一体的サービス提供で利用者増を図ります。
- 誰もが最期まで居心地よく暮らし続けられる在宅サービスを提供します。
- “生協10の基本ケア”に取り組み、質の高いケアマネジメントを実践します。

地域包括支援センター

《理 念》地域で共に支えあい、共に生きる

《重点課題》

- 地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な相談・援助を円滑に行います。
- 多世代でつながり、相互に役割を持ち、支える『地域づくり』に取り組みます。
- 多面的支援の充実と地域住民による支え合い、地域資源、公的支援をコーディネートし、切れ目のない支援を実現できるような『地域づくり』に取り組みます。
- 地域で楽しみや生きがいを見出せるような『地域づくり』に取り組みます。

訪問看護ステーション

《理 念》住み慣れた地域でその人らしく最期まで過ごせるように、安心・安全・こころあたたまる看護を提供します

《重点課題》

- 感染症や非常災害の発生時においても必要なサービスの提供が継続できる体制を構築するための業務継続計画を2024年度の義務化に向けて推進します。
- 地域密着型サービスとの連携強化、ACPの浸透を図り、あらゆる疾病の利用者様のニーズに応じた質の高い訪問看護、リハビリテーションが提供でき、最期まで地域で過ごせるよう、生協10の基本ケアに取り組み、医療と介護の両面からサポートし多職種連携に努めます。
- ICTの活用による情報発信の強化、業務の効率化を目指すとともに法人内・外も含めた介護・医療の連携を推進することで、利用者様とその家族様の安心できる在宅生活を支援します。

看護小規模多機能

《理 念》住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができるよう医療と介護の両面をサポートします

《重点課題》

- 近隣の医療機関と連携し地域住民と交流を図り、利用者様の尊厳を保持し能力に応じ自立した日常生活を営むことを目的に10の基本ケアを導入・実施するため看護・介護で協働します。

- 感染症や非常災害の発生時においても必要なサービスの提供を継続できる体制を構築するため業務継続計画を2024年度の義務化に向けて推進します。
- ICTの活用による情報発信の強化、業務の効率化を目指し、多職種連携を確立することで利用者様が最期まで安心できる在宅生活を支援します。

定期巡回・随時対応サービス

《理 念》「いつでもつながる安心」を提供し、その人らしい暮らしをささえます

《重点課題》

- 広報活動や営業活動を継続し、安定した経営を目指します。
- 利用者が自宅で最期まで安心して暮らせるように、10の基本ケアを学び支援に活かします。
- コンプライアンス徹底を基盤とし、他職種連携を強化します。
- 感染症や災害の発生時に対応できるように、業務継続計画を策定します。

ヘルパーステーション

《理 念》笑顔ある暮らしに寄り添います

《重点課題》

- コンプライアンスの徹底と職員のスキルアップで、信頼される事業所を目指します。
- ICTを活用し、業務の効率化を図ります。
- 職場のコミュニケーションを大切に、働きがいのある職場づくりに努めます。
- 感染症や災害の発生時に対応できるように業務継続計画を策定します。

リハビリテーション

《理 念》一人ひとりを大切に その人らしさをサポートします

《重点課題》

- 新規利用者様の獲得を図り、安定した経営を目指します。
- 生協10の基本ケアを意識した自立支援に繋がる効果的なリハビリを提供します。
- ハラスメントのない生き生きとした職場・事業所を目指します。

通所リハビリ

《理 念》一人ひとりを大切に その人らしさをサポートします

《重点課題》

- 新規利用者様の獲得を図り、安定した経営を目指します。
- 生協10の基本ケアを意識した自立支援に繋がる効果的なリハビリを提供します。
- ハラスメントのない生き生きとした職場・事業所を目指します。

デイサービス

《理 念》人が出会い「笑い」が生まれる

《重点課題》

- 生協10の基本ケアを通して、その人らしい生活が送れるようサポートします。
- LIFEを活用し、機能訓練、口腔栄養、認知症に対して根拠に基づいた介護を提供します。
- 利用者視点に立った自立支援の介護が実践できるよう、教育プログラムを柱とした人材育成を行います。

小規模多機能ホーム

《理 念》一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う

《重点課題》

- 利用者の尊厳を守り地域の生活者として支えます。
- すべての職員が生き活きと活躍できる職場をつくります。
- 地域住民の安心拠点として健全な事業運営を継続します。

ショートステイつどい

《理 念》人がつどい『笑顔』が生まれる

《重点課題》

- 事業費用削減と利用者確保で「黒字」を目指します。
- 「介護過程を理解し考えるケア」が実践できる人をつくります。
- 「やりがいのある職場」をつくります。

グループホームめが

《理 念》思いやりの心で、ひとりひとりの「生きる」を支えます

《重点課題》

- 利用者の尊厳を守り認知症ケアの実践をします。
- 生協「10の基本ケア」を職員全員が周知し自立支援を行います。
- 地域に貢献できる事業所づくりに努めます。

福祉用具レンタル

《理 念》個性ある住みよい暮らしの演出をお手伝いします

《重点課題》

- 利用者様の尊厳を大切に、住み慣れた地域・ご自宅で安心して暮らし続けることができよう環境整備、福祉用具の提案をおこないます。
- ひとりひとりに寄り添った質の高いサービス提供に努めます。
- 展示商品を充実し、気軽に立ち寄っていただける事業所を目指します。

訪問入浴サービス共立

《理 念》安心・快適をモットーに体と心温まる訪問入浴サービスをお届けします

《重点課題》

- 利用者のニーズを受け止め、その人らしく寄り添った訪問入浴をお届けします。
- 多死社会における「尊厳ある在宅看取り」に貢献します。
- ICTを活用して効率的で効果的な職場運営を行い、黒字経営を目指します。

生協本部

《理 念》一人ひとりに、正確・迅速・思いやりのあるサービスを提供します

《重点課題》

- 人材を確保・育成し、事業の発展に貢献します。
- 職員の離職防止、定着率アップをはかり、“安心して働ける事業所づくり”に貢献します。
- 介護職員キャリアアップ育成システムの確立を推進します。
- 健康づくり、認知症見守りサポート、助け合い、つながりを重視した地域活動をひろげ、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
- ICT（情報通信技術）を活用し、法人の情報共有・発信・連携を強化します。